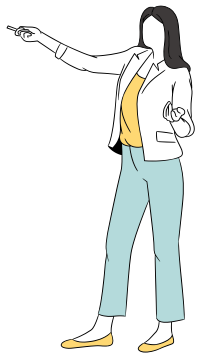


◎審査点80点以上：「補助率1/2」で採択 ◎審査点70点以上80点未満：「補助率1/3」で採択
 ※1 審査は、100点満点です。
 ※2 審査点70点未満は、「不採択」となります。
 ※3 審査点上位者から予算の範囲内で採択するため、審査点の条件を満たしていても不採択となる場合があります。

制度概要

- 対象事業**
 - 街なか活性化のモデルとなる、魅力的で革新的な事業
 - 中心市街地エリアにおいて、平日昼間（9時～17時）のにぎわいを生み出す事業（ただし、単発的なイベントは、対象外となります。）
or まちなか居住を増やす事業が対象です。
- 対象者**
 - 会社の規模に限定はありません（中小企業者に限定しません）。
 - 本店所在地に限定はありません（本市に商業登記の住所がある事業者限定しません）。
- 対象経費**
 - 店舗改装費、設計費等の「事業開始までに要する費用」
※家賃等の「事業開始後の運営費」などは、対象外です。
※採択される前に事業に着手した部分は、対象外です。
- 補助率**
 - 審査点により変動（1/3、1/2） ※上記参照
- 補助上限額**
 - 予算の範囲内（最大500万円） ※審査点上位者から、補助額を決定
- 審査基準**
 - 主に、下記の基準により審査します。
 - ・事業内容（独自性・先進性・魅力）
 - ・事業効果（目標指標の達成への寄与度、波及効果等）
 - ・事業の可能性（実現可能性、継続可能性）
- 進捗報告**
 - 採択事業者は、中心市街地活性化協議会へ事業の進捗状況を報告するほか、協議会委員の意見を事業内容に反映するよう努めなければなりません。
- 応募書類**
 - 下記の書類をご提出ください
①応募申込書 ②事業内容説明書 ③経費明細表 ④資金計画書
⑤暴力団等の排除に関する誓約書兼同意書 ⑥税情報確認承諾書



応募前には
商業労働課(0155-65-4164)に
お問合せください。



詳細は、
スマホから!!

市HPで詳細をご確認いただけます。
また、応募書類の様式をダウンロードすることができます。

＼おびひろまちなか活性化／ 元気な中心市街地づくり 促進事業補助金

申請期限
R6.6.28

おびひろ
まちなか活性化のための
事業アイデア募集中！

- ・まちなか活性化に意欲があり、
先進的で魅力的な事業アイデアをお持ちの方
- ・起業をお考えの方や
新たな事業展開をお考えの方
- ・所在地は市内外問いません
- ・ぜひこの機会にあなたの事業プランを
まちなかで実現しませんか



帯広市が
最大500万補助します！
補助率最大1/2

対象となるまちなかエリアはこちらから！



<お問い合わせ先>
帯広市 商業労働課
0155 - 65 - 4164
commerce@city.obihiro.hokkaido.jp

🔍 帯広市 元気な

過去の採択事例①



新たなコーヒー文化の創出による 市街地活性化プロジェクト



- ・ 中心市街地でイタリア料理店を営む事業者が市内で自家焙煎珈琲豆の製造・販売を行うプロジェクト。
- ・ 地方では珍しいロースタリー(消費者が焙煎の様子を見ることが出来るコーヒーカフェ)を帯広中心部で開き、十勝帯広のコーヒー文化の醸成を目標とする。
- ・ ミシュラン掲載実績のある料理店のこだわった軽食とそれに合うコーヒーの提供、コーヒーのサブスクサービス、モーニングなどコーヒー文化を根付かせるための様々な取り組みを実施するとともに、市内中心部でコーヒーを提供する他店との連携も率先し、「コーヒーパスポート」やコーヒー試飲会などのイベントを行い、店舗を交流の場としても活用し、中心市街地を活性化につなげる試み。
- ・ 現在、都通り商店街で営業を行うイタリア料理店の真向かいにオープン(西2条南10丁目7-3)し、都通りからのコーヒー文化発信を目指す。

過去の採択事例②

旅×アウトドア×ワークスペース (まちづくりプロジェクト)



- ・ 「旅×アウトドア×ワークスペース」をコンセプトに次世代の旅行会社として、広小路にある支店においてキャンピングオフィスイメージした改修を行い、コワーキングスペースを設け、さらにその空間から様々な仕掛けを実施することで「人の集まる場所」へと変化させるプロジェクト
- ・ 店舗内にアウトドア気分を味わえるスペースの確保を行い、コワーキングスペース・会議スペースを設置し、市民、地元ビジネス層からワーケーション等、多くの方に利用していただく空間とする。
- ・ コワーキングスペースは旅行会社の企画力を生かしたイベント開催の場としても利用。
- ・ 単なるコワーキングスペースではなく地域と密着し地元事業者との連携を重視し、広小路から中心市街地活性化へつなげるもの。

過去の採択事例③



新しい学び、新しい出会い、新しいまちづくりの拠点 次世代型教育施設～十勝eスポーツ教育センターの創業



- ・ 次世代型教育施設(十勝eスポーツ教育センター)を旧商中金(西3南6)を活用して新たに立ち上げるプロジェクト。
- ・ 「eスポーツ×教育」を十勝に住む生徒、若者に広く提供したいと考え施設立ち上げを決意。
- ・ 本施設は「ゲームを入りに次世代教育を実現する」ことを目的としており、具体的には、eスポーツを通じた講義・学習塾・ゲームミニ大会や各種イベント開催を予定。さらに教育を通して自身のイベント主催の豊富な経験を活かし、若者自身で面白いと思ったものを企画、開催する力を養いたいと考えている。
- ・ 若者たちにまちづくりについて主体的に考えてもらい、「街を楽しくしていくのは自分たち自身である」と思えるようになってほしいとの思いがある。
- ・ 教育を通して、新しいまちづくりの拠点にしていくことで中心市街地の活性化を図るもの。

過去の採択事例④

縁 MUSUBI～結ぶご縁で街なかを 元気にするプロジェクト～



- ・ 十勝管内では珍しい、カフェ兼美容室を開業し、人の流れを生み出す拠点づくりを行うプロジェクト。
- ・ 事業パートナーである美容室オーナーの、「子ども達のために街なかに活力を」という思いから立ち上げを決意。
- ・ 本店舗(西3南9)では滞在時間の長さを活かし、地域のコミュニティスポットとなることを目指す。カフェと美容室の相互利用による利便性向上、ワークショップやセミナー会場として2階の会議室を活用し、地域事業者との連携を強め、街に人が集まるよう仕掛けていく。
- ・ 学生利用客からのセルフスタイリングの要望を反映し、来店客自らヘアセットができるサービスを提供する。
- ・ 飲食と美容の提供を通して、新しいまちづくりの拠点として中心市街地の活性化を図るもの。

※ご紹介した4事例の情報は採択当時のもの

